

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2023

十勝の晩秋

一気に気温が下がりましたね。北海道でも残暑が長引き、秋が来ないのではと思いましたが、朝は氷点下に近づき、昼間気温も14、5℃。風景全体紅葉が進みモミジの紅やイチョウの黄が鮮やかに彩っています。パラパラ舞い始め道路を覆っています。

十勝の畑では、収穫作業も佳境を迎え、豆から長芋に移ってきました。ハーベスターやトラクター、ファームダンプも収穫物を満載に寄せ走り回っています。

牧場ではデントコーンの収穫詰込作業が、順調に進み大きなスタッグサイロが2本出来上がりました。収穫量は昨年より多い500t。今いる牛たちに大目に上げて間にも間に合います。町営牧場に放牧していた牛たちも一回り大きくなって戻ってきました。これから牛舎周りの冬支度を始めてゆきます。



活動のお知らせ

11/9(木)10:00-12:00
同日13:00-17:00

第13回北海道肉専用種枝肉共励会 北海道畜産公社 十勝工場

第20回資源循環型肉牛生産シンポジウム2023

シンポジウムテーマ「脱炭素社会における資源循環型肉牛生産の意義と役割～耕畜連携における肉牛生産を考える～」

とかちプラザ(帯広市)2階 視聴覚室

基調講演「脱炭素社会における堆肥利用を軸とした耕畜連携・資源循環型農業」

農研機構北海道農業研究センター 上級研究員 池田 成志 氏

話題提供1.「北海道子実コーン組合の取り組みについて」 北海道子実コーン組合 技術顧問 小森 鏡紀夫 氏

話題提供2.「アンガス牛による自給飼料中心の牛肉生産」 宮北牧場 宮北 輝 氏

話題提供3.「オーガニックが創る持続的食料供給システム」 ジャパン・オーガニック・コンソーシアム 南埜 幸信 氏

話題提供4.「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」 司会 帯広畜産大学 教授 口田 圭吾氏、受賞生産者

パネルディスカッション/意見交換会 ランチョエルパソ

現地検討会 北広島

NEWSばか読み

- 農水省 食料供給有機の際の増産要請指針作成
10/3: 常時生産増を柱にした
- 政府経済対策 水田畑地化、肉用子牛下落、コメ等級低下対応
10/4: 速やかに
- 農研機構 食用米ひこばえで再生二期作収量950kg
10/5: 温暖化逆手
- 和牛子牛相場 全国平均50万円切目前
10/5: 暴落 和牛繁殖農家バブル崩壊
- 8月農林水産物 8%減2ヶ月連続青果物3割減 中国禁輸影響拡大
10/7: 中国頼り
- フリマサイト 種苗法違反可能性に対し警告表示
10/7: 売買されているんだ
- 8月家計調査 食料支出2.5%減 物価高、肉食減
10/7: ひしひしと
- 政府 花粉減苗木生産拡大や花粉症緩和米の生産支援
10/11: 生産で対策取れば
- 農研機構 鳥インフルのウィルス18種類に増 3.6倍
10/11: 拡大要素増える
- OPEC世界石油需要16%増 中印の需要拡大
10/11: 経済拡大と相当
- 野菜果実相場が高騰 高温影響 鋼商材に影響
10/12: 異常気象影響が長引く
- 東証 CO2排出量取引市場を開設
10/12: なんでも金になるんだ
- 農水省 食料有事新法で飼料・種苗に要請指示
10/13: 食料の価値観
- 英国保険組合 今後5年間で異常気象損失745兆円予測
10/13: 世界的対策必須
- 農水省 国産飼料増産支援で放牧拡大で指導者育成
10/13: あれれ
- 23年産コメ収穫量1.1%減適正量達成需要縮まる北海道作況104新潟95
10/14:

- マルキン43都道府県で発動 生産費高10/14: 影響続く
- 韓国 酪農家6%減 廃業相次ぐ 飼料高需給減そして輸入増
10/16: 日本と同様
- 9月生乳量が20年で最小昨対6.2%減 酷暑、離農増加で
10/17: 自然搾乳制限
- 村田製作所・帝人がアパレル廃材を堆肥化実証実験
10/17: 取組様々
- 新潟佐渡 11月に生物多様性を育む農業国際会議を開催予定
10/17: 興味
- インボイス制度で中小農家の取引停止が相次ぐ
10/18: 税金搾取
- 9月訪日客218万人 コロナ前水準に 中国客制限で低迷
10/19: 新たな回復
- 住商ソニー 新潟胎内市でもみ殻使用のCO2削減実証実験
10/19: 畜産との取り合い
- 農水省 BSE検査対象96ヶ月齢以上を廃止へ来年4月から
10/19: まだまだ続く
- 肉用子牛補給金が21年ぶりに発動
10/21: 再生産に警笛
- 消費者物価9月2.8%上昇 13ヶ月ぶりに3%割る
10/21: 高値イメージ継続
- 政府経済対策 和牛消費拡大支援を盛り込む
10/25: 慣例どおり
- 日本GDP 4位に後退 ドイツに抜かれる
10/25: 実国力
- 日本大豆ミート協会が設立 大手食品5社
10/25: 活発な動き
- 大阪ガスINPEXが新潟でCO2と水素からメタンガス合成試験設備建設
10/26:
- 転作助成減額で飼料米専用種の種もみ確保へ
10/27: 主食用米とのバランス
- 食品リサイクル法見直しで再エネを明記
10/28: 飼料との競合
- 8月配合飼料2.7%減 引き続き高騰かわらず
10/30:

東京直近NEWS(10/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場低迷。頭数状況変わらずも枝肉相場は下落。販売状況非常に鈍く販売不振を反映させた市況相場の展開。気温低下からスライス材へのシフトは徐々に進むも、根本的なホルス売り場の縮小と交雑2等級パーツとのバッティングで苦戦は続く。一部カタロース等問合せもあるも各部位余裕ありか。需要期へ向けた販売回復期待も状況は良くない。

経産牛

経産牛相場は高値安定で推移。上場頭数は昨年並み維持しており頭数の目立った減頭は無い。今季の酷暑も影響がガリ枝比率増、今後頭数減の可能性大も時期は不透明。販売はロイン強気、ウデー部赤身、トモバラ鈍く余裕あり。挽き材は決して好調ではないが、一定数量販売維持。パーツ挽き材とともに相場高値と製造コスト上昇から値上げ示唆。国産豚の相場高と輸入物動向に注視。

